

日本デフビーチバレーボール協会

アスリート委員会議事録

第 1 回アスリート委員会

日時 令和 4 年 10 月 15 日(土)18:00~19:30

場所 オンライン会議

出席者

- 委員候補選手 4 名
- 理事会担当理事
- 事務局

議題

1 アスリート委員会の設立について

令和 4 年 9 月の理事会決議により、選手の意見を競技団体運営へ反映させるため、アスリート委員会を設置したことが報告された。

2 委員長及び役員の選出

互選により次のとおり決定した。

- 委員長 1 名
- 副委員長 1 名
- 委員 2 名
- 事務局 協会事務局

3 委員会の役割確認

次の事項を確認した。

- 選手の意見集約
- 理事会への提言
- 安全・安心な競技環境づくり
- ハラスメント防止

- アンチ・ドーピング啓発
- デフスポーツの普及活動への参画

4 事務手続き

- 年 1 回以上開催する。
- 必要に応じ臨時開催する。
- 議事録を作成し保存する。
- 必要事項は理事会へ報告する。

決定事項

1. 委員長及び副委員長を選任した。
2. 委員会規程を確認した。
3. 年 1 回以上開催することを確認した。

日本デフビーチバレーボール協会

アスリート委員会議事録

第 2 回アスリート委員会

日時 令和 5 年 4 月 22 日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 令和 4 年度活動報告

委員会設立後の活動状況について報告があった。

2 現状の課題整理

選手から次の課題が挙げられた。

- ① 国内大会数が少ない
- ② 強化合宿の機会不足
- ③ 若手選手の育成体制が十分ではない
- ④ 国際大会参加費用の自己負担が大きい
- ⑤ 選手相談窓口の周知不足

3 改善策

次の改善策を協議した。

- ・ 年間強化計画の策定
- ・ 地域練習会の実施
- ・ SNS による情報発信強化
- ・ ハラスメント相談窓口の周知
- ・ 助成金・スポンサー獲得の推進

決定事項

1. 課題一覧を理事会へ提出する。

2. 選手アンケートを毎年実施する。
3. ハラスメント相談窓口を大会要項へ記載する。

日本デフビーチバレーボール協会

アスリート委員会議事録

第 3 回アスリート委員会

日時 令和 6 年 4 月 20 日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 東京 2025 デフリンピック開催に向けた委員会の役割確認

開催まで約 1 年となったことから、委員会の役割について協議した。

確認事項

- 選手の意見集約
- 強化活動への協力
- 広報活動への参加
- フェアプレー推進
- アンチ・ドーピング啓発
- セーフスポーツの推進
- 国際交流への協力

2 現時点の課題

委員より以下の意見があった。

- 強化合宿回数の確保
- メンタルサポート体制
- 医科学サポート
- 手話通訳配置
- 海外チームとの交流機会
- ボランティアとの情報共有

3 改善策

協議の結果、

- 医科学スタッフとの連携
- 通訳配置計画の整備
- SNS 広報への選手参加
- 選手相談体制の強化

を理事会へ提言することとした。

決定事項

1. デフリンピック対応として四半期ごとの情報共有を実施する。
2. 理事会へ改善提案書を提出する。

日本デフビーチバレーボール協会

アスリート委員会議事録

第4回アスリート委員会

日時 令和7年4月19日(土)

場所 オンライン会議

議題

1 東京2025デフリンピック直前対応について

大会まで約半年となり、選手支援体制について確認した。

2 現在の課題

協議の結果、次の事項が整理された。

- ① コンディショニング管理
- ② メディカルサポート体制
- ③ 遠征時の情報保障(手話通訳・文字情報)
- ④ メディア対応支援
- ⑤ SNS 利用に関する留意事項
- ⑥ ハラスメント防止及び相談窓口の再確認
- ⑦ アンチ・ドーピング教育の再徹底

3 対応策

次の事項を理事会へ提言することとした。

- ・ 選手サポートマニュアルの配布
- ・ 緊急連絡体制の再確認
- ・ メンタルサポート窓口の設置
- ・ JPC 及び関係団体との情報共有強化
- ・ 大会終了後の選手アンケート実施

その他

委員長より、大会終了後には選手の経験を次世代育成及び競技普及へ活かすため、アスリート委員会が中心となって提言書を取りまとめることが提案され、了承された。

決定事項

1. デフリンピック期間中にも必要に応じ委員会を開催する。
2. 選手の意見を迅速に理事会へ報告する体制を継続する。
3. 大会終了後に総括会議を開催する。